

地域ネットワークキングと六次産業化シンポジウム

(土曜日)

開 場

講演時間

13:00-13:30-17:00

参加費

定 員

無 料 200名

中央大学 駿河台記念館

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5

地域における産業活性化、特に第一次産業とそれに付随する地場産業の活性化はどの地域においても長年の課題であり、多くの取り組み(六次産業化)がなされていますが、成功事例は少ないと言われています。新たな商品開発は既存企業においても難しいものですが、一次産業者が行う六次産業化はプロダクトアウトの発想に陥りやすく、また、自然環境に左右される資源に依存していることから、さらに困難であることは容易に想像できます。

今回のシンポジウムでは、生産者と消費地を直接結びつけ、付加価値の高い商品の安定供給を目指すCSN地方創生ネットワークの挑戦と、農業者をネットワークすることで一次産業者にとっても流通・消費者にとってもメリットのある仕組みを構築した和郷の取り組みから、六次産業化の課題を洗い出し、地域ネットワークを通じたイノベーションの可能性を展望します。入場無料ですので、ご興味ある方はお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

基調講演・パネルディスカッション



野本良平

千葉県出身、家業を継いだのち、大手回転寿司チェーン、大手レストランチェーンなどで、商品開発や物流システム改革などを経験。2014年10月にCSN地方創生ネットワーク㈱を設立し代表取締役就任。2015年に羽田空港内に鮮魚の仕分け・加工センターを設置し、地方の漁業者と小売業・飲食店等を直接結ぶオンラインマーケット『羽田市場』を開設。生産者と消費地をつなぐ新しい流通システムの構築に挑戦している。

農林漁業成長産業化支援機構 6次産業化プランナー、静岡県6次産業化専門家、おさかなマイスター等。

CSN地方創生ネットワーク㈱
代表取締役

基調講演・パネルディスカッション



木内博一

千葉県出身、農業者大学卒業後、平成2年に就農。翌年有志5名で野菜の産直を開始。平成8年6月に有限会社和郷を設立し、「和のマネジメントと郷の精神」で約90の農家をグループ化、約50社の取引先に共通ブランドの野菜を販売。現在は、野菜の流通・加工事業を含めグループの年商は約60億円。生産者のネットワークを構築することで、成長戦略の描ける農業を実践している。著書に『最強農家のつくり方～農業界の革命児が語る究極の成長戦略～』。第27回山崎記念農業賞ほか受賞多数。経済産業省「クール・ジャパン民間有識者会議」委員等。

和郷
代表取締役

パネルディスカッション(コーディネーター)



露木恵美子

修士課程修了後、産業用機械メーカーに7年間勤務したのち、国立北陸先端科学技術大学院大学に入学。知識経営論の野中郁次郎氏に師事。2003年～2007年、(独)産業技術総合研究所ベンチャー開発戦略研究センター研究員。2011年4月から現職。東日本大震災をきっかけに漁業者による六次産業化の支援をはじめ、地域コミュニティ内外におけるネットワークについてソーシャル・キャピタルの視点から研究を継続している。専門は組織論、戦略論、ベンチャー起業論。論文に「由比港漁協青年部～漁業者による6次産業化：生き桜えび・沖漬け・漁師魂の事例」等。

中央大学大学院戦略経営研究科
(ビジネススクール)教授
博士(知識科学)

お申込み方法

宛先: cbs@tamajs.chuo-u.ac.jp 件名: 「地域ネットワークキングと六次産業化」2月4日参加希望 本文: 所属、氏名(フリガナ)、連絡先のメールアドレスをご入力後、送信してください。スマートフォンの方は右記のQRコードをご活用ください。

主催: 中央大学大学院戦略経営研究科 (ビジネススクール)

